

四半期報告書

(第101期第1四半期)

図書印刷株式会社

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
2 【その他】	16
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	17

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月13日

【四半期会計期間】 第101期第1四半期(自 平成 24年4月1日 至 平成24年6月30日)

【会社名】 図書印刷株式会社

【英訳名】 Tosho Printing Company, Limited

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 沖 津 仁 彦

【本店の所在の場所】 東京都北区東十条三丁目10番36号

【電話番号】 03(5843)9700(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務本部長 矢 野 誠 之

【最寄りの連絡場所】 東京都北区東十条三丁目10番36号

【電話番号】 03(5843)9838

【事務連絡者氏名】 取締役財務本部長 矢 野 誠 之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第100期 第1四半期 連結累計期間	第101期 第1四半期 連結累計期間	第100期
	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (百万円)	13,323	13,327	59,758
経常利益又は 経常損失(△) (百万円)	△268	△49	908
当期純利益又は 四半期純損失(△) (百万円)	△264	△89	471
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	△236	△145	577
純資産額 (百万円)	36,607	37,090	37,421
総資産額 (百万円)	60,570	59,614	60,188
1株当たり当期純利益金額 又は四半期純損失金額(△) (円)	△3.08	△1.04	5.51
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	60.2	61.9	61.9

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、第100期第1四半期連結累計期間、第101期第1四半期連結累計期間については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、第100期については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復傾向にありますが、欧州債務危機を背景にした海外経済の減速、今夏の電力供給不足懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、電子書籍が堅調に成長しているものの、出版市場全体としては依然として縮小傾向にあり、厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で当社グループは、収益力強化のため、既存顧客の深耕や新規顧客の開拓を強力に進めました。また、事業領域の拡大に向けて、マーケティングや企画・制作、物流など印刷周辺分野にも注力するとともに、総合品質保証体制の推進に努めました。

さらに、収益基盤の強化のため、生産設備の統廃合を行い、生産体制最適化の整備を進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は133億2千7百万円(前年同期比0.0%増)、営業損失は3億3千万円(前年同期は営業損失5億5千万円)、経常損失は4千9百万円(前年同期は経常損失2億6千8百万円)、四半期純損失は8千9百万円(前年同期は四半期純損失2億6千4百万円)となりました。

セグメント別の売上概況は、次のとおりであります。

(印刷事業)

印刷事業セグメントは、出版印刷部門と商業印刷部門から構成されております。

出版印刷部門では、コミック、雑誌などが減少した結果、当部門の売上高は94億1千4百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

商業印刷部門では、カタログ、パンフレットなどが増加した結果、当部門の売上高は36億4百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

(出版事業)

出版部門では、中学校教科書新版に伴う準拠図書の販売が増加した結果、当部門の売上高は3億7百万円(前年同期比30.8%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億7千4百万円減少し、596億1千4百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加25億1千万円、受取手形及び売掛金の減少26億8百万円、有価証券の減少8億9千9百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億4千3百万円減少し、225億2千4百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少8億4千3百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億3千1百万円減少し、370億9千万円となりました。これは主に利益剰余金の減少2億6千万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2千7百万円であります。

当第1四半期連結累計期間において研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	86,267,808	86,267,808	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株であります。
計	86,267,808	86,267,808	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年6月30日	—	86,267	—	13,898	—	12,992

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区 分	株式数(株)	議決権の数(個)	内 容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 610,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 84,935,000	84,935	—
単元未満株式	普通株式 722,808	—	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	86,267,808	—	—
総株主の議決権	—	84,935	—

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が8,000株(議決権8個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が633株含まれております。

② 【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 図書印刷株式会社	東京都北区東十条3-10-36	610,000	—	610,000	0.70
計	—	610,000	—	610,000	0.70

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,975	4,486
受取手形及び売掛金	※ 18,369	※ 15,761
有価証券	7,331	6,432
商品及び製品	336	320
仕掛品	960	980
原材料及び貯蔵品	359	374
繰延税金資産	346	461
その他	360	413
貸倒引当金	△59	△49
流動資産合計	29,980	29,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,143	23,211
減価償却累計額	△11,052	△11,267
建物及び構築物（純額）	12,090	11,944
機械装置及び運搬具	27,342	25,794
減価償却累計額	△24,140	△22,690
機械装置及び運搬具（純額）	3,201	3,104
工具、器具及び備品	1,456	1,458
減価償却累計額	△1,239	△1,249
工具、器具及び備品（純額）	217	208
土地	9,255	9,255
建設仮勘定	8	238
有形固定資産合計	24,773	24,751
無形固定資産		
のれん	18	12
その他	212	200
無形固定資産合計	231	212
投資その他の資産		
投資有価証券	3,175	3,470
繰延税金資産	1,760	1,739
その他	387	370
貸倒引当金	△119	△110
投資その他の資産合計	5,204	5,469
固定資産合計	30,208	30,433
資産合計	60,188	59,614

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 14,131	※ 13,287
1年内返済予定の長期借入金	800	—
未払法人税等	231	67
未払消費税等	274	176
賞与引当金	677	208
役員賞与引当金	32	7
返品調整引当金	20	15
設備関係支払手形	※ 136	※ 256
その他	2,451	3,655
流動負債合計	18,754	17,675
固定負債		
長期借入金	—	800
退職給付引当金	3,790	3,827
役員退職慰労引当金	143	145
資産除去債務	75	72
その他	3	3
固定負債合計	4,012	4,848
負債合計	22,767	22,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,898	13,898
資本剰余金	16,489	16,489
利益剰余金	6,885	6,624
自己株式	△172	△173
株主資本合計	37,100	36,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	85
その他の包括利益累計額合計	147	85
少数株主持分	172	164
純資産合計	37,421	37,090
負債純資産合計	60,188	59,614

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	13,323	13,327
売上原価	11,814	11,770
売上総利益	1,509	1,556
販売費及び一般管理費		
運搬費	482	515
役員報酬及び給料手当	911	869
賞与引当金繰入額	69	49
役員賞与引当金繰入額	8	7
退職給付費用	42	42
役員退職慰労引当金繰入額	10	9
貸倒引当金繰入額	△13	△19
その他	548	410
販売費及び一般管理費合計	2,060	1,887
営業損失(△)	△550	△330
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	250	252
その他	31	21
営業外収益合計	289	283
営業外費用		
支払利息	7	2
その他	0	0
営業外費用合計	7	2
経常損失(△)	△268	△49
特別利益		
固定資産売却益	—	13
特別利益合計	—	13
特別損失		
固定資産除売却損	5	36
子会社株式売却損	18	—
投資有価証券評価損	—	9
固定資産撤去費用	—	19
その他	0	0
特別損失合計	24	64
税金等調整前四半期純損失(△)	△293	△100
法人税、住民税及び事業税	70	42
法人税等調整額	△114	△59
法人税等合計	△43	△17
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△250	△82
少数株主利益	13	6
四半期純損失(△)	△264	△89

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△250	△82
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△62
その他の包括利益合計	13	△62
四半期包括利益	△236	△145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△250	△151
少数株主に係る四半期包括利益	13	6

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	316百万円	447百万円
支払手形	219百万円	210百万円
設備関係支払手形	45百万円	38百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	516百万円	442百万円
のれんの償却額	42百万円	6百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	171	2	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	171	2	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	印刷事業	出版事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,088	235	13,323	—	13,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	157	—	157	△157	—
計	13,245	235	13,481	△157	13,323
セグメント損失(△)	△274	△274	△548	△2	△550

2. 報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

損失	金額
報告セグメント計	△548
のれんの償却額	△6
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△550

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	印刷事業	出版事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,019	307	13,327	—	13,327
セグメント間の内部 売上高又は振替高	83	—	83	△83	—
計	13,102	307	13,410	△83	13,327
セグメント損失(△)	△230	△97	△327	△3	△330

2. 報告セグメントの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

損失	金額
報告セグメント計	△327
のれんの償却額	△6
セグメント間取引消去	2
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△330

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
1 株当たり四半期純損失金額	△3円08銭	△1円04銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額 (百万円)	△264	△89
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失金額 (百万円)	△264	△89
普通株式の期中平均株式数 (千株)	85,663	85,656

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8 月13日

図書印刷株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐 藤 孝 夫 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鳥 生 裕 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 武 田 良 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている図書印刷株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、図書印刷株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月13日

【会社名】 図書印刷株式会社

【英訳名】 Tosho Printing Company, Limited

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 沖津 仁彦

【最高財務責任者の役職氏名】 取締役財務本部長 矢野 誠之

【本店の所在の場所】 東京都北区東十条三丁目10番36号

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長沖津仁彦及び当社最高財務責任者矢野誠之は、当社の第101期第1四半期(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。